

角筈地区協議会

平成27年度第9回（第118回）地域交流分科会 概要

平成26年12月3日（水）10:00～12:15

角筈特別出張所2階会議室

出席：委員7名 新宿区社会福祉協議会（オブザーバー）1名 事務局3名

1 リーダーより

欠席の井上リーダーに代わり熊谷サブリーダーの挨拶がありました。熊谷サブリーダーが会を進行しました。

2 委員の皆さんから連絡

村中委員より情報提供がありました。

3 各分科会の報告

(1) 生活環境分科会

第14回「つのはず友遊カフェ」

日時：12月17日（水） 13時30分～

場所：西新宿シニア活動館

(2) 安全安心分科会

防災施設見学会報告

日にち：11月16日（日） 11時30分集合～18時解散

場所：立川防災館

参加人数：37名

参加した委員の感想：大変よかった。体験型の防災訓練は何度でも経験しておく、いざという時に役立てられると思う。また開催されたら参加したい。

4 議題

(1) 「秋を探そう中央公園！」振り返り

11月28日に開催した秋を探そう中央公園について振り返り、反省点や感想を話し合いました。また、今後についての改善点等もあがりしました。

① 事前準備について

- ・ 11月26日に出張所2階へ集まり各コーナーの準備を行ったが、出席委員が3名だったので物品の細かな確認はできなかった。イベントは準備も大切な要素なので、担当の物品は責任を持って用意してほしい。
- ・ 工作の見本がなくなっていたが、係が出席していれば準備の日に用意することもできたと思う。

- ② 受付について
 - ・ 散策参加者とそれ以外の方のプログラムを色分けしたのでわかりやすかった。
 - ・ 受付を開始する前の時間(設営や打ち合わせの時間)が足りなかった。
 - ・ 受付での武田委員の采配がよかった。
- ③ 散策について
 - ・ 西新宿小学校は事前に連絡してあったが忘れられてしまった。
 - ・ 一般の参加が多かった(39名)。
 - ・ 途中で2班に分かれたことにより説明も聞きやすくなりよかった。
 - ・ エコギャラリーからの散策担当がマイクで声を拾えなかったので、途中でマイクを変えた。
 - ・ 参加者が熱心に聴いていた。よい説明だった。
- ④ 防災食試食について
 - ・ 防災食のみの参加者は43名。散策参加者と合わせて約80食で、残りの70食をスタッフやおかわり分とした。
 - ・ アルファ米があまりおいしくなかった。硬かった。お湯の量や蒸らし時間、混ぜ具合が足りなかったのでは。
 - ・ 中央公園を守る会からのお手伝いが初めての方が何人かいて段取りが悪かった。6人ではなく8人の手が欲しかった。また、手伝いを地区協議会委員に頼んでも良いのではないか。
 - ・ 人手不足で味噌汁の残量など把握できなかった。そのためにおかわりを呼び掛けるタイミングを逸した。
 - ・ 味噌汁の味が薄い鍋があった。
 - ・ ご飯の一パックの量が少なかった。
- ⑤ ランチタイムミニコンサートについて
 - ・ 会場設営の人手が足りなかった。
 - ・ 来年は「中央公園ランチタイムミニコンサート」の横断幕を作ってもよいのでは。
 - ・ プロの演奏家もよいが、アマチュアのバンド演奏でも人は集まるのではないか。
 - ・ 今回も雨天の際は新宿パークタワーに協力依頼できたが、1階のアトリウムであれば演奏する楽器は選ばないようだ。
 - ・ 地域で活動しているアマチュアバンドがいれば声を掛けても良いと思う。
- ⑥ 工作について
 - ・ 人手が足りなかった。作り方を聞かれたが、なかなか全員に手が回らなかった。
 - ・ 参加者が多かった。
 - ・ 見本がなかった。
 - ・ 防災食のテーブルが足りなくなったために、工作用に設営していたテーブルを防災食に使用した。工作ブースの設営は防災食が終わってからの方がよいのでは。
- ⑦ その他
 - ・ 委員の集合時間が10時は遅いのではないか。
 - ・ 出席委員が例年より少なかった。
 - ・ 力仕事のできる若手が必要ではないか。エコギャラリーでは、当日手の空いているスタッフが手伝いに来ることもできるので、来年は依頼するようにする。

- ・ 今年も防災食目当ての方が早い時間から座って待っている状態だった。開催方法を変えてみて、散策、防災食、ミニコンサート、工作は、それぞれのブース形式にして、順番に回るのではなく、体験したいものを各自が楽しむようなかたちにしてはどうか。
- ・ このイベントを企画した当初は、散策から工作までを一連のツアー形式にして楽しんでもらうということで始めた。
- ・ こういうイベントは人がたくさん集まることが目的。
- ・ 防災食を配るタイミングは、散策参加者の分を確保しておけば準備が出来た時点で配ってもよいのではないかな。
- ・ そのやり方で防災食のみ的人が増えても困る。やはり散策や他のものに参加して防災食という原則は変えないほうがよい。
- ・ 散策参加者の座席をあらかじめ確保しておく。(防災食のみの参加も容認)
- ・ 角筈地域センターの西新宿タウンニュースで秋探しの紹介をしているが、「角筈地区協議会・角筈地域センター共催事業」となっている。これは正しいのか。⇒主催、共催がわかりにくくなるので、来年は地域センターにこの表記を変えてもらうよう依頼する。
- ・ 今後は地区協議会委員に手伝いを呼び掛けては？
- ・ 町会にも声を掛けてはどうか。

【まとめ】

来年も内容はこれまで通りとする。来年に向けて体制も含めてこの事業をどのように進めるかは1月、2月の定例会で検討する。

(2) 「魚のおろし方教室」報告

担当の熊谷委員と事務局から報告がありました。

日時：11月8日(土) 14時～17時

申し込み数：17名

当日参加者：16名

講師等スタッフ：9名

参加費：300円

当日の材料運搬費として参加費を充てました。地区協議会としての収入はありません。申し込み多数により、定員より増やして受け付けました。これにより、計画段階では今年度内に2回開催予定でしたが、1回のみとなりました。参加者は30才代から80才代までと幅広く、アンケートにも「また開催してほしい」というリクエストがあったように好評でしたが、そもそもこの事業は地区協委員の開拓・PRなので、今回の参加者が再び参加できる事業の企画は難しくなります。地区協の主旨や活動は理解していただけたようですが、今のところ委員の応募にはつながっていません。

今後この事業をどのようにしていくのか検討する必要があるでしょう。

(3) 情報紙「わいわい地域交流！」について

① 34号振り返り

来月に持ち越しとなりました。

② 今後の編集方針とその方法について

時間切れとなり踏み込んだ話し合いはできませんでしたが、委員からは次のような意見が出ました。

- ・ 今日時間なくなってしまう、情報紙の話し合いができなかった。な

いがしろにされているように感じる。

- ・ 秋探しの反省は当日にしてほしかった。
- ・ 年度当初に情報紙の発行は一年間に4回と決めた。予算も取っていることだし、決めたことはきっちりやりたい。なし崩し的に(情報紙の発行を)やめることはしないでほしい。
- ・ 編集デスクについて次をどうするかは、1月の定例会で話し合っただろうか。今日より出席人数も多い時に、今後継続するか、休刊にするか、廃刊にするかを話し合ったほうがよい。
- ・ 1～3月の間に35号を発行したい。その号で、来年度についての発行形態を掲載してはどうか。
- ・ 定例会で情報紙を後回しにしたのではなく、他の事業の話し合いも進めなくては、その事業も開催できなかつたと思う。
- ・ 今の状態で次号良いものが発行できるのか疑問。
- ・ 34号発行前にも今後どのようにしていくか検討しようとしたが、結局34号の編集発行を優先し話し合いを進めることができなかつた。1月の定例会では他の事業の話はないので、来年度に向けても情報紙について話し合うべき時期だ。

これ以降の話し合いは1月の定例会に持ち越しとなりました。

(4) その他

① 新年会について

別紙にてお知らせします。

5 次回会議日程

日時 : 1月7日(水) 10時～12時
会場 : 角筈特別出張所2階会議室